

「まなびの広場」は那須教育事務所ホームページに掲載されます。
<http://www.pref.tochigi.lg.jp/system/desaki/desaki/nasu-kyouiku01.html>

毎月第3日曜日は「家庭の日」

「那須地区ふれあい学習ネットワーク」特集

2月5日（土）に那須塩原市三島ホールで「那須地区ふれあい学習ネットワーク」を開催しました。当日は、那須地区各小中学校のPTA役員を中心に、190名余りの方々に御参加いただきました。今回は「親子でふれあえていますか？」をメインテーマに全体会と分科会の2部構成で行いました。

第1部の全体会では「みんなで知ろう『これってあり！？イマドキ親子』」と題して、親子のコミュニケーションや地域の教育力と親子関係、家庭教育の二極化について、お悩み相談室風の寸劇に作新学院大学女子短期大学部 教授 加藤千佐子先生が解説を加えるといった内容で行いました。参加者からは、「身近な問題を寸劇で表現し、分かりやすかった。」「寸劇後の先生の解説が分かりやすく、大変勉強になった。」などの御感想をいただきました。

第2部では「親子でふれあうためにできること」をテーマに、小グループに分かれての分科会を行いました。できるだけ多くの方と意見交換をしていただきたいと考え、途中でグループを替えながら、およそ40分間話し合いを行いました。参加者からは「たくさんの体験談や意見が聞けて、本当に良かった。」「いろいろな地域の実情がよく分かりました。」などの感想をいただきました。

最後に、加藤先生による総括及び講評があり、「子どもと良好なコミュニケーションをとるためには、大人自身が変わる必要がある。」と、会場に語りかけるように話していたのが印象的でした。

今回の参加者が、このネットワークで得たものを、それぞれの立場で実践していただければ幸いです。



第1部のお悩み相談室風寸劇は、なかなかの“迷”演技に会場の笑いを誘っていました。



第2部の分科会は、話が盛り上がり、時間ももっとほしかったという感想を多数いただきました。



最後の加藤先生の総括は、親子関係の核心を突く内容でした。

ネットワーク全体の感想

- ・いろいろな地域の方と交流がもて、話をするのができ、とても良かった。
- ・改めて親子の在り方、地域の在り方を考えさせられました。ありがとうございました。
- ・分科会での話がとても興味深く、もう少し時間を取ってほしいと感じました。
- ・さまざまな意見を聞くことが出来て勉強になりました。